



富永小学校からの報告

活動団体名： 富永小学校 4年生

活動人数： 21人（教員1名）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容 1回目：5月15日（月） 富永小学校西側の川 
2回目：6月5日（月） 高時川（雨森橋の下） 

富永小学校では「みずすまし」として、総合的な学習の時間に水生生物調査を行いました。調査場所は学校の西側の川と高時川（雨森橋付近）です。魚採り網やバケツ・ざる等を子どもたちが持ち、グループに分かれて川に入り水生生物を採取したり、COD値の測定をしたりしました。指導員の先生に道具の使い方や指標生物について、水生生物のいる場所などを教えていただきながら計2回の調査を行いました。1回目は学校の裏の小さな川で道具の使い方に慣れたり、水生生物の見つけ方を教わったりしました。2回目の高時川の調査では慣れた様子で大きな石をひっくり返しながら網に水生生物を入れる姿や、草の生い茂ったところや川の深みに網を突っ込んでガサガサと楽しそうに探す姿を見ることができました。また採れた水生生物を仲間分けするときは、配付された下敷き（図鑑）を見ながら「これは何かな？」と特徴をとらえて分類を進めました。初めは魚など大きな生き物が採れたことに喜びを感じていましたが、次第に



指標生物を見つけたときに喜びを感じるようになりました。

調査員の感想

- ・学校西側の川はきれいな川だと分かりました。でもⅣのイトミミズがいたり、どろでにごっていたりしたので、本当にきれいなのかなと思いました。
- ・高時川では前日に大雨が降ったせいか、生き物はあまりいませんでした。でもⅠやⅡの生き物だったので、きれいなんだなと思いました。雨で上流から来た生き物もいるのかも・・・と思いました。

捕まえた生き物たち

- ・学校西側の川で一番多かったのはサワガニでした。他にはヒラタカゲロウ類、カワゲラ類、トビケラ、シジミ、カワニナ、イトミミズが見られました。珍しいマツカサガイがいました。
- ・高時川で一番多かったのは、ヒラタカゲロウ類でした。他には、カワゲラ、トビケラ、サワガニ、カワニナがいました。珍しいアカザがいました。



調査のまとめ

調査の結果、学校裏の川と高時川でとれた水生生物を比べると、ほとんど似た生き物がとれたこと、川のきれいさもほぼ同等であることがわかりました。このことから、高時川の水と学校西側の川の水は同じなのかもしれないと、川沿いを歩いたり地図で調べたりして、高時川の水が学校の近くまで流れてきていることに気づくことができました。また、高時川の支流沿いにある学校の過去の調査結果を見ると、下流に行くにつれ（人が多く住んでいるところに近づくにつれ）、汚れていることに気が付きました。自分たちの住んでいる近くの川が綺麗なことに喜ぶとともに、川の環境にも目を向けることができ、川の水を汚さないようにすることの大切さを見直すきっかけにもなりました。



活動の様子

【学校裏の川 きれいな川だと思う人～?】



【学校裏の川 橋の下ではさみうち】



【学校裏の川 生き物の仲間分け】



【学校裏の川 川の様子】



【学校裏の川 同じ生き物はいるのかな】



【高時川 COD 値】



【高時川 職場体験の中学生と一緒に】



【高時川 深いところまでしっかりと】



【高時川 川の様子】



【高時川 分類をしよう】



【高時川 珍しい生き物アカザ発見】



【高時川 網ですみに追い込んで】

